

《赤血球系の検査》

RBC : RBC(赤血球数), HCT(ヘマトクリット), HGB(ヘモグロビン)のいずれか、または全
HCT : RBC(赤血球数), HCT(ヘマトクリット), HGB(ヘモグロビン)のいずれか、または全
HGB : RBC(赤血球数), HCT(ヘマトクリット), HGB(ヘモグロビン)のいずれか、または全
ての値が減少することを貧血と言います。

MCV, MCH, MCHC : RBCやHGBに関連した数値で貧血のタイプの分類に使用します。
RETIC : 網状赤血球数@溶血や失血性の貧血などの際に出現する若い赤血球です。

《白血球系の検査》

WBC : 総白血球数@血液中の白血球の総数です。

NEU : 白血球のうちの好中球の数です。炎症や骨髄増殖性疾患で増加します。

LYM : 白血球のうちのリンパ球の数です。ある種の炎症では増加、ストレスで減少します。

MONO : 白血球のうちの単球の数です。慢性炎症などで増加します。

EOS : 白血球のうちの好酸球の数です。寄生虫・アレルギー疾患などで増加します。

BASO : 白血球のうちの好塩基球の数です。

PLT : 血小板の数です。血小板は血液の凝固に重要な役割を果たします。

《血液化学検査》

GLU : グルコース@血糖値のことです。ストレスや糖尿病などで上昇します。

CREA : クレアチニン@腎機能低下により上昇します。

BUN : 尿素窒素@腎機能低下や脱水・循環不全などにより上昇します。

PHOS : 無機リン@腎疾患で上昇、敗血症などで低下します。

CA : カルシウム@CAは筋肉や神経細胞などの働きに深く関わっています。

TP : 総蛋白@血中のタンパク質で主にALBとGLOBから成ります。

ALB : アルブミン@肝臓で合成され、吸収不全・合成不全・漏出(喪失)により減少します。

GLOB : グロブリン@慢性炎症やウイルス感染、ある種の腫瘍性疾患では上昇します。

ALT : アラニンアミノトランスフェラーゼ@肝細胞の障害の指標となります。

ALKP : アルカリフォスファターゼ@胆汁うっ滞の指標となります。

AST : アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ@肝細胞壊死の指標となります。

GGT : ガンマグルタミルトランスぺプチダーゼ@胆汁うっ滞の指標となります。

TBIL : 総ビリルビン@肝臓で合成されます。TBILの上昇は黄疸の存在を示します。

CHOL : 総コレステロール@犬の甲状腺機能低下症などで上昇する場合があります。

AMYL : アミラーゼ@膵炎で上昇することがありますが検査感度はあまり高くありません。

LIPA : リパーゼ@膵炎で上昇することがありますが検査感度はあまり高くありません。

Na : 電解質@細胞の浸透圧調整や酸-塩基平衡、神経伝達などの重要な役割を担ってい
K : ます。水和状態の異常など様々な状況で電解質のバランスが崩れることがあります。
Cl

NH3 : アンモニア@蛋白質の分解産物で肝臓で代謝されます。肝機能低下で上昇します。

TRIG : トリグリセリド@中性脂肪のことです。食後は高値になります。

CRP : 炎症マーカー@炎症性疾患の存在とその重症度の指標となります。

T4 : 甲状腺ホルモン@上昇で甲状腺機能亢進症、低下で機能低下症を疑います。

フルクトサミン : 過去2~3週間の血糖値を反映します。糖尿病が疑われる際に測定します。

SpecPL : 膵特異的リパーゼ@上昇している場合は膵炎の可能性が高いと判断されます。

HW : 犬糸状虫(フィラリア)抗原@フィラリアの検査。予防の前にはHW検査が必要です。